

# 地域周産期医療学

## 1 構 成 員

	平成 27 年 3 月 31 日現在	
教授	0 人	
准教授	0 人	
講師（うち病院籍）	0 人	(0 人)
助教（うち病院籍）	0 人	(0 人)
特任教員（特任教授、特任准教授、特任助教を含む）	2 人	
医員	0 人	
研修医	0 人	
特任研究員	0 人	
大学院学生（うち他講座から）	0 人	(0 人)
研究生	0 人	
外国人客員研究員	0 人	
技術職員（教務職員を含む）	0 人	
その他（技術補佐員等）	2 人	
合計	4 人	

## 2 教員の異動状況

飯嶋 重雄、特任准教授、平成 24 年 4 月 1 日～現職

大石 彰、特任助教、平成 24 年 5 月 1 日～現職

## 3 研究業績

数字は小数 2 位まで。

	平成 26 年度	
(1) 原著論文数（うち邦文のもの）	1 編	(0 編)
そのインパクトファクターの合計	1.92	
(2) 論文形式のプロシーディングズ及びレター	0 編	
そのインパクトファクターの合計	0.00	
(3) 総説数（うち邦文のもの）	1 編	(1 編)
そのインパクトファクターの合計	0.00	
(4) 著書数（うち邦文のもの）	0 編	(0 編)
(5) 症例報告数（うち邦文のもの）	1 編	(0 編)
そのインパクトファクターの合計	2.35	

### (1) 原著論文（当該教室所属の者に下線）

A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

1. Iijima S, Baba T, Ueno D, Ohishi A. International normalized ratio testing with point-of-care coagulometer in healthy term neonates. BMC Pediatr 14: 179, 2014

インパクトファクターの小計

[ 1.918 ]

B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの（学内の共同研究）

C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの

### (2-1) 論文形式のプロシーディングズ

### (2-2) レター

### (3) 総説

A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

1. 飯嶋重雄:特集 妊婦のアレルギー・自己免疫・炎症性疾患一病態と妊婦管理の新しい知見 自己免疫異常と妊娠 シェーグレン症候群と妊娠. 臨婦産 68: 434-439, 2014

B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの（学内の共同研究）

C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの

### (4) 著書

### (5) 症例報告

A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

1. Ohishi A, Nakashima S, Ogata T, Iijima S: Early vitamin K deficiency bleeding in a neonate associated with maternal Crohn's disease. J Perinatol 34: 636-639, 2014

インパクトファクターの小計 [ 2.347 ]

B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの（学内の共同研究）

C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの

## 4 特許等の出願状況

	平成 26 年度
特許取得数（出願中含む）	0 件

## 5 医学研究費取得状況

(万円未満四捨五入)

	平成 26 年度	
(1) 文部科学省科学研究費	1 件	(65 万円)
(2) 厚生労働科学研究費	0 件	(0 万円)
(3) 他政府機関による研究助成	0 件	(0 万円)
(4) 財団助成金	0 件	(0 万円)
(5) 受託研究または共同研究	0 件	(0 万円)
(6) 奨学寄附金その他（民間より）	0 件	(0 万円)

(1) 文部科学省科学研究費

「男児外性器異常発症に関与する環境因子と遺伝因子の複合的作用についての研究」

代表研究者：大石 彰（特任助教）

(2) 厚生労働科学研究費

- (3) 他政府機関による研究助成
- (4) 財団助成金
- (5) 受託研究または共同研究

## 6 新学術研究などの大型プロジェクトの代表, 総括

## 7 学会活動

	国際学会	国内学会
(1) 特別講演・招待講演回数	0 件	0 件
(2) シンポジウム発表数	0 件	0 件
(3) 学会座長回数	0 件	1 件
(4) 学会開催回数	0 件	0 件
(5) 学会役員等回数	0 件	1 件
(6) 一般演題発表数	0 件	

- (1) 国際学会等開催・参加
- (2) 国内学会の開催・参加
  - 1) 主催した学会名
  - 2) 学会における特別講演・招待講演
  - 3) シンポジウム発表
  - 4) 座長をした学会名  
第 50 回日本周産期・新生児医学会総会および学術集会
- (3) 役職についている国際・国内学会名とその役割  
日本未熟児新生児学会：評議員

## 8 学術雑誌の編集への貢献

	国内	外国
学術雑誌編集数（レフリー数は除く）	0 件	0 件

## 9 共同研究の実施状況

	平成 25 年度
(1) 国際共同研究	0 件
(2) 国内共同研究	0 件
(3) 学内共同研究	1 件

- (1) 国際共同研究
- (2) 国内共同研究
- (3) 学内共同研究

「乳児における斜頭症・絶壁頭の防止用具の開発－試作品の効果検証－」、  
浜松医科大学臨床看護学講座、2012 年 4 月～2015 年 1 月

## 10 産学共同研究

	平成 26 年度
産学共同研究	0 件

## 11 受 賞

12 研究プロジェクト及びこの期間中の研究成果概要

13 この期間中の特筆すべき業績，新技術の開発

14 研究の独創性，国際性，継続性，応用性

15 新聞，雑誌等による報道